

岐阜県教育委員会 様

岐阜県立池田高等学校  
校長 西谷 徹

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- |   |      |                         |                               |
|---|------|-------------------------|-------------------------------|
| 1 | 会議名  | 岐阜県立池田高等学校学校運営協議会 (第3回) |                               |
| 2 | 開催方法 | 書面開催                    |                               |
| 3 | 参加者  | 委員                      | 小林 月子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校長       |
|   |      |                         | 西尾 真奈巳 神戸町地域代表                |
|   |      |                         | 西川 昭 元池田高等学校育友会役員             |
|   |      |                         | 西川 菊雄 池田町上田区長                 |
|   |      |                         | 安田 正博 元池田高等学校育友会役員、垂井町青少年県指導員 |
|   |      |                         | 國枝 磨須美 池田町教育長                 |
|   |      |                         | 宇野 秀宣 神戸町教育長                  |
|   |      |                         | 仲井 智一 池田町立池田中学校長              |
|   |      |                         | 伊藤 敦 神戸町立神戸中学校長               |
|   |      |                         | 飯沼 誠二 育友会会長                   |
|   | 学校側  |                         | 西谷 徹 校長                       |
|   |      |                         | 楠井 徳之 教頭                      |
|   |      |                         | 小野 信幸 事務長                     |
|   |      |                         | 桐山 竹司 教務主任                    |
|   |      |                         | 福島 秀一 生徒指導主事                  |
|   |      |                         | 水上 尊雄 進路指導部長                  |

## 4 会議の概要 (委員のご意見)

学校関係者評価より

## (1) 学校経営について

- 池田高校は、近隣の子供たちが誇りや憧れを持って通う学校として大きな評価を得ている。ユネスコスクールへいち早く登録承認されるなど、活発な活動は他の学校にも影響を与えてきた。地元池田町の福祉や環境等に関する行事に参加する生徒の真摯な姿から、地域社会の将来を担う若者として期待できる。
- 全体を通して、生徒に寄り添いながらしっかり取り組んでいただけている。今後とも地域との連携をよろしく願いたい。
- 学校経営の中核にSDGsを位置づけるなど、今日的な課題を取り入れ、明確な方針のもと学校経営が行われていることがわかる。さらに、ユネスコスクールとして地域創生の核となる学校づくりに期待している。
- コロナ禍においては、教職員や生徒の行動がある程度制限されるのはやむを得ず、感染予防のためにも、ICTを活用した教育が最善だと考える。また、行事については中止を前提とするのではなく、可能な範囲での実施を検討し、生徒と教職員がともに工夫して行事を創り上げた努力は素晴らしく、常に生徒の意見を大切にしていることがよくわかる。

- (2) 研修について
- ・ 授業参観ではタブレットやホワイトボードを使った授業が展開されていた。研修を通して、素早く対応されたことは素晴らしく、今後も活用を望みます。
  - ・ 中学校においても全教職員が授業公開日を設けているが、普段から教職員が授業を参観し合うことはなかなか難しいので、高校の授業公開週間の取組を参考にしたい。
  - ・ タブレットを利用した授業改善について、中学校とも交流していただけるとありがたい。
  - ・ ICTを利用して、国内だけでなくグローバルな交流の場を設定してほしい。
- (3) 教育課程・学習指導について
- ・ 来年度以降、小学校・中学校では35人学級の編成が始まります。高校でもICT機器を活用し、個々に応じた学習活動をより一層推進していただきたい。
  - ・ 学習意欲が低く、基礎的な学力の定着が十分でない生徒への支援方法を明らかにしてほしい。
- (4) 生徒指導について
- ・ 生徒登校時に、校門の前に立って安全指導されている教職員や生徒の姿を拝見し、なにより自転車できちんと一列走行しているのに感心しています。今後も地域の手本となる高校生の姿があることを願っています。また、地元中学校と高校が連携した指導についても検討の必要があると考える。
  - ・ 本会議を、中学校での不登校傾向を示す生徒の減少に向けた組織の運用や研修の進め方など、教育相談推進の参考としたい。また、SNSの適切な利用や問題行動について中高で連携して指導をしていきたい。
- (5) 進路指導について
- ・ 進学や就職に関しては、外部機関と連携をとって指導してほしい。さらに、将来的に資格を有する職業については、早い段階から生徒に情報提供するとよい。生徒のやりたいことから目標を明確にさせることが重要である。
  - ・ 生徒に自らの生き方について考えさせ、国公立大学進学希望者から就職希望者まで、多様な生徒が在籍する中でそれぞれのニーズに応じた指導を丁寧に行っている。
- (6) 特別活動について
- ・ 高校生のボランティア活動への積極的な参加意欲は高く評価できる。コロナ終息後は、進んでボランティアとして活躍していただきたい。高校生の姿が小学生・中学生の良き模範となっている。
  - ・ 池田町で唯一の中学校と高校なので、過度な負担とならないように配慮しつつ、生徒会活動や部活動での交流連携をお願いしたい。
- (7) 保健・安全管理について
- ・ マスク着用や手指消毒の徹底による感染予防はもちろん大切だが、コロナ禍での活動自粛により、教職員も生徒もストレスが溜まっていると考える。ストレス発散の機会も必要ではないか。

## 5 会議のまとめ

- ・ 学校運営協議会は、学校運営の改善に資する意見や助言を幅広く聞く場とすることが趣旨ですが、コロナ禍ということで第1回と同様に第3回も書面開催となりました。今回は、学校関係者評価を利用して、「学校経営」など7つの項目においてご意見を伺いました。委員の方々には本年度の学校運営の振り返りをご覧いただき、来年度の学校運営への指針をご指摘いただけたと考えます。
- ・ コロナの状況にもよりますが、今後は書面開催でなく、対面でご意見を伺うことが大切であると考えます。